

## 指導のねらい

- 津波の発生の仕組みを理解し、津波は繰り返し押し寄せること、引くまでに時間がかかることを理解する。
- 津波が起きたときの避難のタイミングを理解し、津波注意報または警報が出たら、もしくは強い地震が起きたら、すぐに避難できるようになる。

## ■学習指導要領

## 生活科

## 第1学年及び第2学年の内容

## 〔身近な人々、社会及び自然と関わる活動に関する内容〕

- (6) 身近な自然を利用したり、身近にある物を使ったりするなどして遊ぶ活動を通して、遊びや遊ばしに使う物を工夫して作ることができ、その面白さや自然の不思議さに気付くとともに、みんなと楽しみながら遊びを創り出そうとする。

## 社会科

## 第3学年の内容

- (3) 地域の安全を守る働きについて、学習の問題を追及・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるように指導する。
- ア 次のような知識及び技能を身に付けること。
    - (ア) 消防署や警察署などの関係機関は、地域の安全を守るために、相互に連携して緊急時に対処する態勢をとっていることや、関係機関が地域の人々と協力して火災や事故などの防止に努めていることを理解すること。
  - イ 次のような思考力、判断力、表現力などを身に付けること。
    - (ア) 施設・設備などの配置、緊急時への備えや対応などに着目して、関係機関や地域の人々の諸活動をとらえ、相互の関連や従事する人々の働きを考え、表現すること。

## 特別活動

## 学級活動の内容

- (2) 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全
- ウ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成
    - 現在及び生涯にわたって心身の健康を保持増進することや、事件や事故、災害などから身を守り安全に行動すること。

## ■授業展開例(15分)

| 時間(分) | 学習活動   | 指導上の留意点   | 副読本該当項目   |
|-------|--|---|---|
| 0     | 地震の結果、津波が発生することへの振り返りがスムーズにいくよう、家庭学習で第2章のはじまりを振り返り、第3章「つ波」の冒頭を見ておくようにする。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●第2章と第3章のつながりを意識し、一度学んだことを次に活かす心構えを持たせる。</li> <li>●QRコードから動画を見せる。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>●p.10-11「地しん」</li> <li>●p.16-17「つ波」</li> </ul>   |
| 2     | 1 第2章「地しん」で、地震により起きる災害の一つとして、津波があることを振り返り、津波への関心を高める。                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>●地震による災害の危険性を振り返ることにもつなげる。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●p.11「こんなきけんがあるよ!」</li> </ul>  |
| 5     | 2 津波からつながる災害について、p.16～17の図や説明文を見て気づいたことや疑問に思うことを発表する。                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>●事前に読ませてきた部分について、児童に発問しながら説明し、津波の発生仕組みや特徴、津波から発生する被害について理解させる。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●p.16-17「つ波」</li> </ul>  |
| 5     | 3 津波が発生したとき、どんな行動をとるべきか、考えてきたことを発表する。                                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>●発表後、副読本を見ながら説明をする。</li> <li>●説明をする際は、児童の意見を取り入れながら行う。<br/>例:「〇〇さんの意見のように～…」「〇〇さんの意見も正しい。さらにこうすると、もっと安全」など。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●p.18「つ波がくるよ!と知らせる「けいほう・注意ほう」」</li> <li>●p.19「つ波のとくちよう」</li> <li>●p.20「つ波のひょうしきやハタ」</li> <li>●p.21「つ波できけんなこと」</li> </ul> |
| 3     | 4 本学習を振り返る。  |   |   |

## ■補足説明

### ④高波、高潮、津波の違い

防災教育副読本「風水害編」p.15で台風の被害の一つとして高波を紹介しています。風水害編で学んだ高波と津波は、こんなに違う、ということ子どもたちに伝えることで、津波への被害を深めることができます。「高波」のほか、津波と似ている現象に「高潮」があります。よく似た現象に見えますが、これらは発生原因が大きく異なります。

**高波**⇒高波は強風によって海面の形が大きく変形する現象です。台風と合わせて発生することが多く、気象庁では「波浪注意報・警報の対象になる程度の高波」と定義づけられています。「波浪注意報・警報の対象になる程

度」は各地域で異なります。海岸沿いの地域で被害が発生することがありますが、海岸で波が砕け散るので、高波だけで洪水などの浸水被害を起こすことはありません。

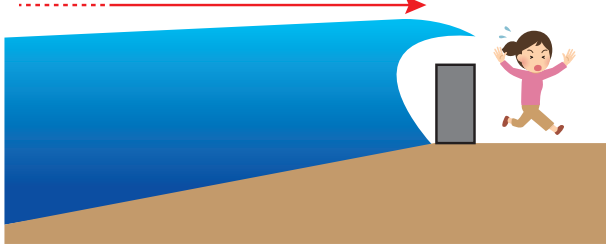
**高潮**⇒高潮の原因は台風です。私たちは常に空気の圧力を受けています。台風の中心付近は、周りに比べて空気の圧力が弱いので、台風の中心付近で海面が吸い上げられます。そして、強風で海水が吹き寄せられ、海岸沿いの地域が浸水します。

※29ページ⑥のURLをご参照ください。

**津波**⇒津波は、地震や火山によって海底が上下に大きく動くことで海水が押し上げられて起こります。また、火山の噴出物や崩れた土砂が勢いよく海に流れ込むことでも起こります。

**津波**

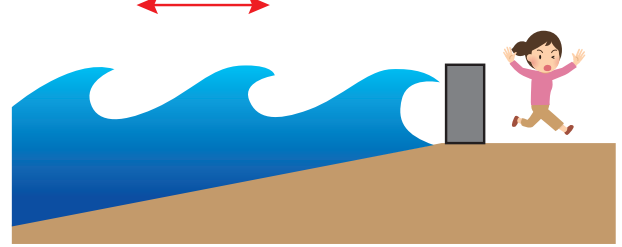
波長 数km～数百km



海底から海面までの海水全体が押し寄せる

**波浪**

波長 数m～数百m



海面付近の海水だけが押し寄せる

九州では過去に、鹿児島県にある桜島の噴火活動や長崎県にある眉山が崩れたことによって津波が発生しています。

安永8年(1779年)から天明元年(1781年)にかけ、桜島は活発な噴火活動を繰り返していました。噴火の活動域が少しずつ海の方へ移動していき、海底で噴火が起きたことで津波が発生しました。さらに海底噴火も繰り返し起こり、鹿児島湾沿岸地域では浸水に伴う水死や家屋などの被害が出ました。

※29ページ⑦のURLをご参照ください。



A

3 つ なみ 波

つ波が見えるまえからひなんすることが大事だよ。

こんなきけんがあるよ!

水におされる・流される

水があふれる

車が川や海に流されることがあります。

つ波が川をさかのぼって、川から水があふれることがあります。

水がひざぐらいの高さでも、流されちゃうから、あぶないよ!

車の電池が海の水につかっただけで、火事になることがあります。

平成23年(2011年)東日本大震災

(画像提供: 震災伝承館(出典: 岩手県久慈市))

つ波がきたときの様子や、そのあとどうすればいいかを動画で見てみよう

B

16
17

## ㊤QRコード

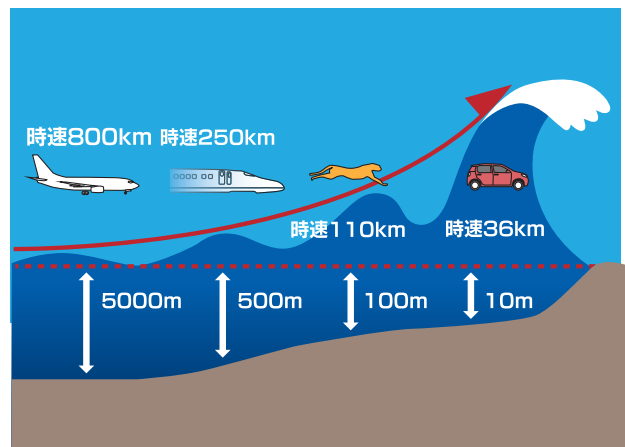
タブレットなどでQRコードを読み込むことでYOUTUBE「津波防災啓発ビデオ」から、気象庁の津波に対する啓発動画を閲覧することができます。動画を見て気分が悪くなった場合は、先生に知らせるよう注意喚起をしましょう。

動画時間：4分40秒 出典元：気象庁

## ㊦津波の高さと被害

水の塊が、車が走るスピードで押し寄せるため、大人でも高さ30cmで流されてしまうことがあります。1mを超えると人は流されて死

亡する確率が高くなります。また、木造住宅も部分的に壊れてしまいます。



(気象庁「津波発生と伝播のしくみ」をもとに株式会社談作成)

### ●津波の高さと建物被害

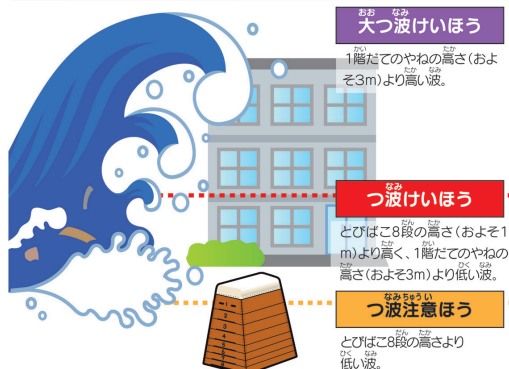
| 津波の高さ(m)       | 1      | 2    | 4 | 8    | 16 | 32   |
|----------------|--------|------|---|------|----|------|
| 木造家屋           | 部分的破壊  | 全面破壊 |   |      |    |      |
| 石造家屋           | 持ちこたえる |      |   | 全面破壊 |    |      |
| 鉄筋<br>コンクリートビル | 持ちこたえる |      |   |      |    | 全面破壊 |

(気象庁「津波波高と被害程度(首藤(1993)を改変)」を加工して作成)

## なみ つ波から み まも 身を守るためには

なみ つ波がくるよ!と知らせる「けいほう・注意ほう」  
つ波がくるかもしれないとき、「大つ波けいほう」「つ波けいほう」「つ波注意ほう」が発表されます。

| けいほうの種類 | とるべき行動                              |
|---------|-------------------------------------|
| 大つ波けいほう | すぐに海や川からはなれ、高い所へ避難しましょう。            |
| つ波けいほう  | 海や川の中にいるときは、すぐに上がって、海岸や川岸からはなれましょう。 |
| つ波注意ほう  |                                     |



18

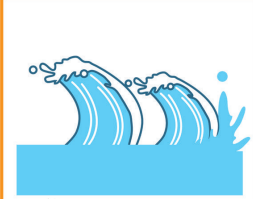
### なみ つ波のとくちょう

#### くるま 車よりはやい



つ波は車よりもはやいので、見える前ににげることが大事です。

#### くりかえしやってくる



つ波はくりかえしやってくるので、すぐに安心してはいけません。

#### ななでもおし流す



つ波はなんでもおし流す力があるので、とてもあぶないです。

#### かわをさかのぼる



つ波は川をさかのぼってくるので海から遠くても安心してはいけません。

つ波は速くの海からでもやってくるんじや。  
つ波けいほうが出たらとにかくはやくひなんするんじや。

19

## ㊦津波が49kmも川をさかのぼった

東日本大震災では、津波が宮城県と岩手県を流れる北上川をさかのぼっていきました。さかのぼった距離は河口から49kmといわれています。  
**※29ページ㊦のURLをご参照ください。**

## ㊧津波火災の事例

東日本大震災では、宮城県気仙沼市で大規模な津波火災が発生しました。海岸沿いに並んでいた船舶燃料用のタンクが津波で破壊され、中の重油が漏れ出てしまい、火災の火が燃え移り、大規模火災となってしまいました。津波で人や消火のための機材が流されてしまったり、断水していたりと消火活動も難航しました。

## ㊨教職員がとるべき行動例

- 小学校が海に近い地域にある場合、強い地震を感じたり、津波注意報や警報が発表されたときは、学校よりも高い高台へ避難するよ

うに指示をしましょう。いざというときに避難ができるように、児童とどこへ避難するか複数の避難場所を決め、どの経路で避難するか話し合っておきましょう。

- 小学校が海から離れていても、川の近くにある場合は、強い地震を感じたり、津波注意報や警報が発表されたときは、学校の上階もしくは学校よりも高い高台へ避難するように指示をしましょう。いざというときに避難ができるように、児童とどこへ避難するか複数の避難場所を決め、どの経路で避難するか話し合っておきましょう。
- 校外学習のときは、あらかじめ、安全そうな高台の場所や避難場所を探して確認しておきましょう。

### 参考

### 揺れを感じなくても、津波は起きる！ 海外からやって来た津波の事例

日本で起きた地震だけでなく、海外で起きた地震で発生した津波が太平洋を渡り、日本に届くことがあります。

平成19年(2007年)8月16日8時40分(日本

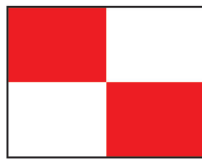
### なみ つ波のひょうしきやハタ

見たことがある ひょうしきやハタは あるかな？ さがしてみよう！



つ波注意

つ波がくるかもしれない場所にあるよ。



つ波フラッグ

海にいて、つ波がくるかもしれないときは、このハタで知らせるよ。



つ波ひなん場所



つ波ひなん所



ひなん場所のひょうしき

つ波がくるときにひなんする場所にあるよ。



あ、このひょうしきやハタ、見たことあるよ！

つ波がくる前に、かくにしておこう。

### なみ つ波できけんなこと

つ波でどんなきけんことがおきるでしょうか。下の写真をみながら考えてみましょう。



平成23年3月11日東北地方太平洋沖地しん、岩手県山田町  
（画像提供：東北地方整備局 震災記録部）

-----

-----

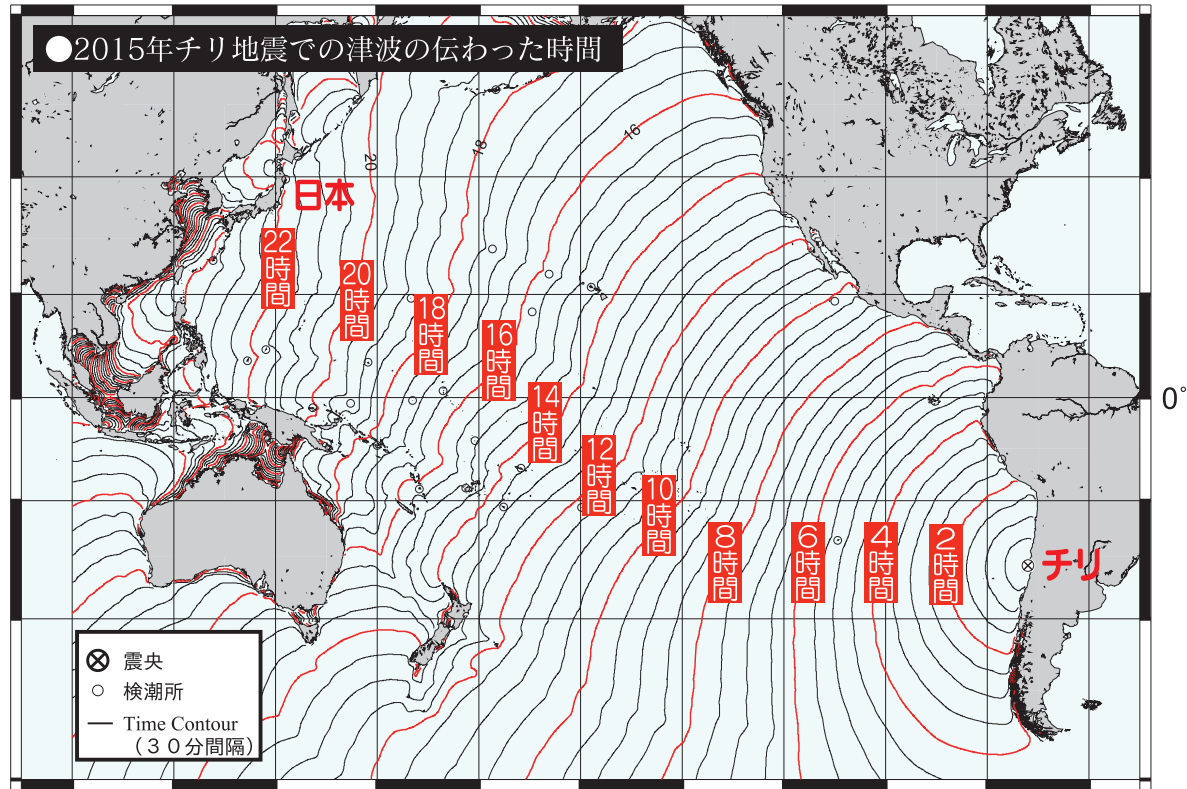
-----

時間)、ペルー沿岸でマグニチュード7.9の地震が発生しました。その地震で発生した津波は、20時間以上かけて太平洋を渡り、翌日の8月17日の午前中に日本へやって来ました。北海道から沖縄にかけて、10～20cm程度の津波が観測されました。

ほかにも、日本から遠く離れた場所で起きた地震による津波が日本へやって来た事例が

あります。揺れを感じなくても津波がやって来ることもあるのです。

※29ページ⑨のURLをご参照ください。



▲チリで地震が起きた場合、およそ24時間後に津波が来る恐れがあります。

## 板書例

めあて

つ波がおきたときに  
命を守る行動がとれるようになろう。

<つ波が来るよ！と知らせる  
「けいほう・注意ほう」>

|         |                  |
|---------|------------------|
| 大つ波けいほう | すぐに高いところへ<br>にげる |
| つ波けいほう  |                  |
| つ波注意ほう  | 海や川からはなれる        |

<つ波が来るとどんなことがおこるか？>

- ・しん水
- ・つ波火災
- ・とうかい、流失

<つ波のとくちょう>

- ・車や自転車より速い。
- ・くりかえし、やってくる。
- ・なんでも押し流す。
- ・川をさかのぼることもある。

<まとめ>

- ・つ波のスピードは、ものすごく速い！  
見える前にひなん！
- ・ゆれなくてもつ波は来ることがある。  
注意報などが発表されたら、すぐにひなん！

# 4 生きるために考えよう

## 指導のねらい

- 通学路にある防災設備・防災機関の役割を理解する。
- 避難所での過ごし方を理解し、新型コロナウイルスなどの感染症対策に努めることができるようになる。
- ワークを通して、災害に備えることができるようになる。

## ■学習指導要領

### 生活科

#### 第1学年及び第2学年の内容

##### 〔学校、家庭及び地域の生活に関する内容〕

- (1) 学校生活に関わる活動を通して、学校の施設の様子や学校生活を支えている人々や友達、通学路の様子やその安全を守っている人々などについて考えることができ、学校での生活はさまざまな人や施設と関わっていることが分かり、楽しく安心して遊びや生活をしたり、安全な登下校をしたりしようとする。
- (2) 家庭生活に関わる活動を通して、家庭における家族のことや自分でできることなどについて考えることができ、家庭での生活は互いに支え合っていることが分かり、自分の役割を積極的に果たしたり、規則正しく健康に気を付けて生活したりしようとする。
- (3) 地域に関わる活動を通して、地域の場所やそこで生活したり働いたりしている人々について考えることができ、自分たちの生活はさまざまな人や場所と関わっていることが分かり、それらに親しみや愛着を持ち、適切に接したり安全に生活したりしようとする。

### 社会科

#### 第3学年の内容

- (3) 地域の安全を守る働きについて、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるように指導する。
  - ア 次のような知識及び技能を身に付けること。
    - (イ) 見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、まとめること。
    - イ 次のような思考力、判断力、表現力などを身に付けること。
      - (ア) 施設・設備などの配置、緊急時への備えや対応などに着目して、関係機関や地域の人々の諸活動をとらえ、相互の関連や従事する人々の働きを考え、表現すること。

### 特別活動

#### 学級活動の内容

- (2) 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全
  - ウ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成  
現在及び生涯にわたって心身の健康を保持増進することや、事件や事故、災害などから身を守り安全に行動すること。

## ■授業展開例(15分)

| 時間(分) | 学習活動  | 指導上の留意点   | 副読本該当項目   |
|-------|---|---|---|
| 0     | 家庭学習で、「地しんがくる前、きたとき、地しんの後の行動」「もしものときに持っていくもの」「ひなん所までの地図を書いてみよう」「ひなんするときのルールをきめよう」「めざせ！防災はかせ」を考えたり調べたりして、まとめる。 | ●家庭学習で、「地しんがくる前、きたとき、地しんの後の行動」「もしものときに持っていくもの」「ひなん所までの地図を書いてみよう」「ひなんするときのルールをきめよう」「めざせ！防災はかせ」をまとめさせておく。 | ●p.22「地しんがくる前、きたとき、地しんの後の行動」<br>●p.25「もしものときに持っていくもの」<br>●p.26「ひなん所までの地図を書いてみよう」<br>●p.27「ひなんするときのルールをきめよう」<br>●p.29「めざせ！防災はかせ」 |
| 2     | 1 これまでの学習を振り返り、本日の学習課題を把握する。  | ●どんな災害のときに、どんなことに気を付けなければならなかったのか、と発問する。  |   |
| 10    |   |   |   |
| 3     | 2 本学習を振り返る。   |   |   |

※赤枠の中は下記選択A～Dよりお選びください。

### 選択A【「地しんがくる前、きたとき、地しんの後の行動」「ひなんするとき気をつけること」】

|   |  |   |                              |
|---|--|---|------------------------------|
| 5 | 2 家庭学習で取り組んできた「地しんがくる前、きたとき、地しんの後の行動」について発表する。 | ●地震が来る前や、来たとき、地震の後の行動について、自分ならどうするかなど意見を発表させる。<br>●説明をする際は、児童の意見を取り入れながら行う。<br>例:「〇〇さんの意見のように～…」<br>「〇〇さんの意見も正しい。さらにこうすると、もっと安全」など。 | ●p.22「地しんがくる前、きたとき、地しんの後の行動」 |
| 5 | 3 副読本を読み、避難時の注意点を確認する。                         | ●注意を守らなければどのような危険があるか、意見を出し発表させる。   | ●p.23「ひなんするとき気をつけること」        |

### 選択B【「ひなん所にいったとき気をつけること」「もしものときに持っていくもの」】

|   |   |                                       |                          |
|---|---|---------------------------------------|--------------------------|
| 5 | 2 副読本を読んで、避難所での過ごし方について理解する。なぜルールを守らなければならないのか発表する。 | ●取り上げているルールについて、なぜそうしなければならないのか発表させる。 | ●p.24「ひなん所にいったとき気をつけること」 |
|---|---|---------------------------------------|--------------------------|



|   |   |  |                       |
|---|---|--|-----------------------|
| 5 | 3 家庭学習で取り組んできた「もしものときに持っていくもの」についてグループで説明し合う。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●自宅で各自、持出品をリュックにまとめて、持って来てもらう。</li> <li>●家庭や個人によって準備する物は違ってくるので、持ち出す物が違ってもおかしくないことを強調する。</li> </ul> | ●p.25「もしものときに持っていくもの」 |
|---|---|--|-----------------------|

**選択C【「ひなん所までの地図を書いてみよう」「ひなんするときのルールをきめよう】**

|   |  |  |                         |
|---|--|--|-------------------------|
| 5 | 2 家庭学習で取り組んできた「ひなん所までの地図を書いてみよう」について、地図を書いてみた感想について発表する。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●手が挙がらないときは、「おうちの人と、どんな話をしましたか?」「ひなん所に行くまでに、あぶないなと思った道はありましたか?」などの声掛けをして発言を促す。</li> </ul> | ●p.26「ひなん所までの地図を書いてみよう」 |
| 5 | 3 家庭学習で取り組んできた「ひなんするときのルールをきめよう」についてグループで説明し合う。          | <ul style="list-style-type: none"> <li>●家族とどんな話をして、なぜこのルールに決めたかについて説明させる。</li> <li>●ルールは家庭によって異なるので、全てが正解であることを強調する。</li> </ul>  | ●p.27「ひなんするときのルールをきめよう」 |

**選択D【「防災くん練にさんかしよう」「地しん・つ波について思ったこと」「めざせ！防災はかせ】**

|   |   |  |                         |
|---|---|--|-------------------------|
| 2 | 2 地域の防災訓練に参加するメリットについて理解する。                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>●地域の防災訓練は回覧板などでお知らせがあるので、保護者に確認するように促す。</li> <li>●地域の防災訓練は強制参加するものではないが、以下のようなメリットがあることを伝える。</li> <li>●避難の練習ができるので、非常時にどんな行動をとればいいのか分かる。</li> <li>●地域の人と顔見知りになるので、非常時に助けに来てもらえることがある。</li> <li>●地域の人と顔見知りになるので、非常時に誰に頼ればいいのか分かる。</li> </ul> | ●p.26「ひなん所までの地図を書いてみよう」 |
| 5 | 3 家庭学習で取り組んできた「めざせ！防災はかせ」の正解を確認し、非常時の行動について再確認する。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●クイズに正解できたで終わりにせず、非常時に行動ができてこそ意味があることを強調する。</li> </ul>  |                         |
| 3 | 4 本学習で学んだことをまとめる。                                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●時間があれば、発表させる。</li> </ul>   | ●p.28「地しん・つ波について思ったこと」  |

# 4 生きるために考えよう

ひなんするときに気をつけることを勉強しましょう！

## 地しんがくる前、きたとき、地しんの後の行動

地しんがくる前から「地しんがくる前、地しんがきたとき、地しんの後にどうするか、ひなん所ではどうするか」を知っておきましょう。

### 1 地しんがくる前

- ひなんグッズをじゅんぴする。
- 3日分の飲りょう水とそのまま食べられる食べものをじゅんぴする。
- 地しんがおきたら、どう行動するかを家族と話し合う。
- ひなん所までのいき方をかくにんする。



### 2 地しんがきたとき

- 頭を守って、自分の命を守る。
- 安全な場所にひとりどき
- ひなん所へいくか、家にいるかを相談する。
- 先生のしじにたがって行動する。

### 3 地しんの後

- がけや川などに近づかない。
- こわれたたてものに入らない、近づかない。
- ラジオやインターネットなどで正しいほうをかくにんする。
- つけておこる地しんに気をつける。
- ひなん所で過ごすときは、ひなん所のルールを守る。

## ひなんするとき気をつけること



地しんがおきてひなんするときは、このように気をつけるんじや。

●つぶやしゃ災害がおこるかもしれない場所からはすぐにひなんしましょう。

●ひなんするときは、家のカギをしめたことを確認しましょう。

●なるべく大人の人といっしょにひなんしましょう。

●車を使わずにひなんしましょう。

●うごきやすい服を、ひなんしましょう。

**もちもの**  
ひつような物だけをリュックなどに入れて持っていきましょう。いざというときにきけんを知らせるため、ホイッスルなどを持っていきましょう。

**くつ**  
はきなれたくつをはきましょう。

**ぼうしやヘルメット**  
頭を守るためにぼうしやヘルメットなどをかぶりましょう。

できるだけ両手に物を持たないようにしてひなんしましょう。

●山や海や川に近づかないようにしましょう。

## ひなん所に入ったとき気をつけること



令和3年8月佐賀市 (画像提供:佐賀新聞)

ひなん所に入ったときは、おたがいにゆずりあい、助け合って生活するんじや。新型コロナウイルスなどの感染症がはやってるときは、かかたり、うつしたりしないように気をつけるのじや。

しずかに過ごしましょう。

マスクをつけておきましょう。

ひんの人にあいさつしましょう。

ほかの人とはできるだけはなれましょう。

## もしものときに持っていくもの

あなたのおうちでは、もしものときにどんなものをひなん所に持っていきますか？ おうちのの人に聞いて、じゅんぴするものに○をつけよう。



きちんと災害にそなえているかな？ おうちのひとと話し合ってみよう。

**じゅんぴするもの(例)** ○をつけよう

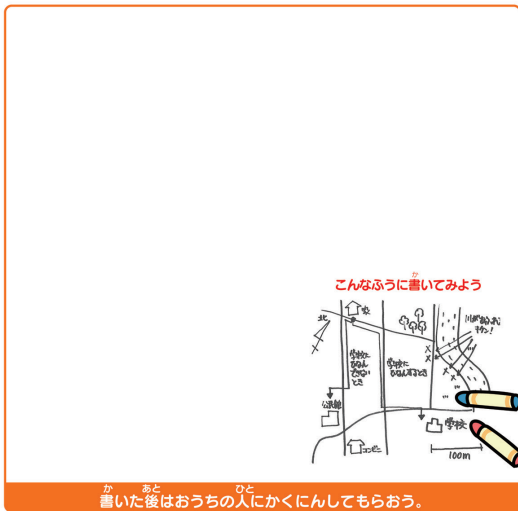
|                          |  |
|--------------------------|--|
| ①マスク                     |  |
| ②かい中電とうやヘッドライト           |  |
| ③きゅうきゅうセット               |  |
| ④けいたいラジオ                 |  |
| ⑤ティッシュペーパー               |  |
| ⑥ヘルメット                   |  |
| ⑦体温計                     |  |
| ⑧ぐん手                     |  |
| ⑨じよきんウェットティッシュ           |  |
| ⑩歯ブラシ                    |  |
| ⑪タオル                     |  |
| ⑫ビニールぶくろ                 |  |
| ⑬けいたいトイレ                 |  |
| ⑭そのまま食べられる物(かんづめ、カンパンなど) |  |
| ⑮飲りょう水                   |  |
| ⑯雨具、ぼう寒具                 |  |
| ⑰ホイッスル                   |  |

※両手が使えるようにリュックに入れて、じゅんぴしよう。  
※ひなんするときにぬれないように、ビニールぶくろに入れるなどの工夫をしましょう。  
※このページはコピーをして使いましょう。

## ひなん所までの地図を書いてみよう

E

- 1 学校からあなたの家までの帰り道をかいたり、地図をはったりしよう。
- 2 ひなん所を地図に書いてみよう。
- 3 おうちの人といっしょに歩いて、ひなん所までのいき方を書いてみよう。



書いた後はおうちの人にかくにんしてもらおう。

地図を書いたり、歩いたりして、気づいたことや思ったことを書いてみましょう。

-----

-----

-----

26

※このページはコピーをして使しましょう。

## ひなんするときのルールをきめよう

おうちの人と「いつ」「どこへ」「だれと」ひなんをするか話してルールをきめましょう。近くにいないときのれんらく方法や、まちなかでも話し合ひましょう。

### ● いつ？

なにが  どうした  とき  
が  とき  
見本：(隠しん)が、(おきた)とき / (〇〇かいほう)が、(出た)とき

### ● どこへ？

1 家から一番近いひなん場所はどこですか？

2 ①にいくのがあふないときは、どこにいきますか？

3 外に出るのがあふないときは、家の中のどこが安全ですか？

### ● だれと？

1 だれとひなんしますか？

2 ①に書いた人がいないときは、どうしますか？

### ● おうちの人とのれんらく

1 どうやってれんらくをとりますか？  
○をつけましょう。

電話  ライン  そのた

2 れんらくがとれないとき、  
どこでまちなかあわせしますか？

見本：〇〇小学校の入り口

※このページはコピーをして使しましょう。

27

## ぼうさい れん 防災くん練にさんかしよう

日ごろからちいさな防災くん練にさんかして災害にそなえましょう。



防災くん練で身の守り方などを教えてもらおう。



## じ 地しん・つ波について思ったこと

この本をよんで思ったことや考えたことを書きましょう。

-----

-----

-----

-----

-----

-----

28

※このページはコピーをして使しましょう。

## めざせ！ ぼうさい 防災はかせ

この本で勉強したことのまとめクイズです。いくつわかるかな？



下の文章で、正しければ○、まちがっていたら×をつけましょう。


Q1 地しんが来る前、地しんがきたときにどうするかを  
おうちの人と話しておく。  ○  ×

Q2 地しんが来る前、たななどがたおれないようにこ  
ていしておく。  ○  ×

Q3 学校で地しんがきたときは、すぐに自分の家にひ  
なんする。  ○  ×

Q4 へいのそばにいるとき地しんがきたので、その場  
でしゃがんでじっとしていた。  ○  ×

Q5 地しんがきたとき、つ波で火事がおきることがあ  
る。  ○  ×

Q6  これは「つ波がきたときにひなんする  
場所にあるひょうしき」である。  ○  ×

Q7 命を守るポーズとは「しせいを低くして、頭を守り、  
じっとしている」ことである。  ○  ×

Q8 地しんがきたとき、はだしでもいいので急いでに  
げたほうがよい。  ○  ×

Q9 地しんの後、ひなん所では他の人もいるのでルー  
ルを守ってすずかに過ごすようにする。  ○  ×

Q10 地しんの後、きけんなのでがけや川には近づか  
ないようにする。  ○  ×

クイズのこたえ Q1:○, Q2:○, Q3:×, Q4:×, Q5:○, Q6:×, Q7:○, Q8:×, Q9:○, Q10:○  
※このページはコピーをして使しましょう。

29

## ■補足説明

### ④車を使わずに避難する理由

避難をする際はなるべく車を使用しない方がいいと言われてしています。その理由は、以下の通りです。

- 多くの避難者が車を使用した場合、渋滞や交通事故が発生する恐れが高いため。そして、徒歩で避難する人たちを妨害する恐れがあるため。
- 車が津波などにより水没した場合、避難ができなくなるため。

### ⑤体調不良者などがあるスペースには入ってはいけない

避難所では、発熱や咳などの症状がある避難者と一般の避難者とはスペースが分けられ、接触しないようになっています。そのルールを守らず、体調不良の避難者がいるスペースに入ってしまうと、体調不良者に迷惑をかけるとともに、感染してしまう可能性があります。体調不良者などがあるスペースには入らないようにしましょう。

また避難所では児童一人で行動するのは避けるようにし、できるだけ大人や複数人数で行動するようにしましょう。

※スペースが分けられているのは、感染拡大を防止するための対策です。体調不良者やその家族をひぼう中傷することや差別することは絶対にやめましょう。

### ⑥避難所での感染防止対策

マスクの着用や、ソーシャルディスタンスをとること以外に、以下のような感染防止対策に努めましょう。

- 避難所に入る前に検温をしましょう。また、避難所生活が長引く際は、毎日検温して自分の体調をチェックしましょう。
- 咳や強いだるさを感じる場合は、隠さずに、家族や避難所のスタッフに伝えましょう。
- 家族と過ごすときも、なるべく向かい合わないようにし、寝るときは頭を互い違いにするなど、咳やくしゃみなどによる飛沫（ひまつ）感染の防止に努めましょう。

### ⑦他に必要な物がいないか確認しよう

イラストはあくまで一例です。状況に応じて必要な物がいないか考えさせましょう。

持病やアレルギーのある児童は、普段飲んでいる薬を忘れないように指導しましょう。

### ⑧避難所に行くことだけが避難ではない

避難とは「難を避ける（なんをさける）」ということですが。

近年の災害では、避難所に行く途中で命を落とすという例も報告されています。

危険な状況での避難はできるだけ避け、安全の確保を第一に考えましょう。危険が切迫している場合は、指定された避難場所などへの移動だけでなく、近隣の安全な建物などへの避難や、屋内のより安全な場所への移動が必要な場合もあります。

### ⑨めざせ！防災はかせ

- ①○：地震が来る前に家族とよく話し合っておくことが大事です。
- ②○：地震が来る前に棚を固定したり、窓ガラスにフィルムを貼るなど、家族と協力して対策しておくことで被害を防ぐことができます。
- ③×：学校で地震が起きたときは、すぐに自分の家に帰ったりせず、まずは揺れが収まるまで自分の身の安全をしっかりと守り、先生の指示に従って避難することが重要です。
- ④×：地震が起きたときには、塀が崩れるなどの危険があるので、塀のそばでじっとしてはいけません。まずは塀から離れてから、身の安全を確保することが大事です。
- ⑤○：津波は水が押し寄せて来るため火災のイメージはあまりないかもしれませんが、車のバッテリーなどが水につかって発火した例もあり、無縁ではありません。
- ⑥×：これはp.20にある通り「津波注意」の標識です。
- ⑦○：命を守るポーズは「ダンゴムシのポーズ」ともいわれています。耐震性のある建物内にいること、高い棚や重い物が上から落ちてこない環境にあることを前提としていますが、とっさに身を守るために有効です。
- ⑧×：地震が起きたときは、まずは落ち着いて行動することが大事です。
- ⑨○：コロナ禍では特にマスクをするなど感染対策が重要になってきます。
- ⑩○：地震の後の崖は土砂災害の危険が、川は津波の危険があります。

## ㊤災害用伝言ダイヤル171

災害用伝言ダイヤル171は、非常時のみに設置される番号ですが、体験利用日に体験することができます。授業内で実際に体験してみるのもよいでしょう。

【体験利用日】

- 毎月1日、15日
- 1月1日～3日
- 防災週間(8月30日9時～9月5日17時)
- 防災とボランティア週間(1月15日9時～1月21日17時)

【条件】

- 伝言録音時間:30秒
  - 伝言保存期間:体験利用期間
  - 伝言蓄積数:20伝言
- ※29ページ㊸のURLをご参照ください。

## ㊦公衆電話の使い方

災害用伝言ダイヤル171は、公衆電話でも利用することができます。しかし、2017年にNTT東日本が行った調査では、公衆電話を使った経験のない小学生が約85%以上にのぼることが分かりました。NTT東日本のホームページで公衆電話の使い方をイラストや動画で分かりやすく説明しています。

※29ページ㊹のURLをご参照ください。

**おうちの人といっしょに災害の情報をつめよう**

**テレビ**

地上デジタルテレビ放送(dボタン)  
テレビのデータ放送から、災害やひなん所などの情報を見ることができます。



**インターネット**

気象庁ホームページ  
気象庁(福岡県高橋台)ホームページ

福岡県防災ホームページ  
福岡県防災ホームページ



**防災メール・まもるくん**

登録(無料)をしておくと、災害・防災についての情報や住んでいる場所の安全情報をメールしてくれます。

**ラジオ**

てい電などテレビやインターネットが使えないとき、ラジオで情報を手に入れます。

**防災行政無線、広報車など**

住んでいる場所によっては、ひんががよびかけられます。

**「171(災害用伝言ダイヤル)」の使い方**

大きな災害がおきたときに使える、とくべつな電話番号です。「171」に電話をすると、自分のメッセージをろく音したり、おうちの人のメッセージをきいたりできます。

171  
に電話する

ろく音するときは  
1をおす

おうちの人の  
電話番号を  
入力する

ろく音する  
伝言を

さいせいするときは  
2をおす

さいせいする  
伝言を

福岡県 (総務部 防災危機管理局 防災企画課)  
〒812-8577 福岡市博多区東公園7-7 TEL(092)643-3112  
FAX(092)643-3117

このほはちのQRコードからダウンロードできます



※29ページ㊺のURL(農林水産省の家庭備蓄についての動画)、㊻のURL(福岡県防災ホームページ:避難所を探す)も授業にご活用ください。

## 板書例

めあて

さいがいがおきてもおせらないように、  
今できるじゅんぴをしよう。

**4 生きるためのききょう**

おんあひのちんがとくべつなちんがをききょうしよう!

おんあひのちんがをききょうする。おんあひのちんがをききょうする。おんあひのちんがをききょうする。

- おんあひのちんがをききょうする**
  - おんあひのちんがをききょうする。
  - おんあひのちんがをききょうする。
  - おんあひのちんがをききょうする。
- おんあひのちんがをききょうする**
  - おんあひのちんがをききょうする。
  - おんあひのちんがをききょうする。
  - おんあひのちんがをききょうする。
- おんあひのちんがをききょうする**
  - おんあひのちんがをききょうする。
  - おんあひのちんがをききょうする。
  - おんあひのちんがをききょうする。

**ひなんするとき長をつけること**

おんあひのちんがをききょうする。おんあひのちんがをききょうする。

- おんあひのちんがをききょうする。
- おんあひのちんがをききょうする。
- おんあひのちんがをききょうする。
- おんあひのちんがをききょうする。
- おんあひのちんがをききょうする。
- おんあひのちんがをききょうする。
- おんあひのちんがをききょうする。
- おんあひのちんがをききょうする。

**気づいたこと、思ったこと**

- 子ども会であつまった公民館(こうみんかん)は、ひなん所になることもある。
- ★家の人とはなればなれで地しんにあつたら、公園(こうえん)など、よく知っているわかりやすい場所であつた。
- いつも通るところに、つ波のときにひなんするビルがあつた。

## 参考用ウェブサイト

①

※内閣府防災情報のページ:  
<http://www.bousai.go.jp/updates/index.html>



⑧

※NHKホームページ(河川津波の脅威):  
[https://www3.nhk.or.jp/news/special/shinsai7portal/kasen\\_tsunami/](https://www3.nhk.or.jp/news/special/shinsai7portal/kasen_tsunami/)



②

※陸上自衛隊ホームページ:  
災害派遣の仕組みについて  
<https://www.mod.go.jp/gsd/abou/dro/>



⑨

※気象庁ホームページ(津波の伝播の様子):  
[https://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/tsunami/peru\\_20070816.gif](https://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/tsunami/peru_20070816.gif)



③

※日本海の地震津波想定:  
[http://www.asahi.com/special/nihonkai\\_soutei/](http://www.asahi.com/special/nihonkai_soutei/)



⑩

※NTT西日本ホームページ:  
災害用伝言ダイヤルの録音方法  
<https://www.ntt-west.co.jp/den gon/way/rec.html>



④

※活断層データベース:  
<https://gbank.gsj.jp/activefault/search>



⑪

※NTT東日本ホームページ:  
公衆電話の使い方(子ども向け)  
<https://www.ntt-east.co.jp/ptd/kousyukids/learn/>



⑤

※NHKそなえる防災  
緊急地震速報の例(動画)  
<https://www.nhk.or.jp/sonae/bousai/>



⑫

※農林水産省 家庭備蓄についての動画:  
<https://www.youtube.com/watch?v=5V5h-SPRcns>



⑥

※NHKそなえる防災(高潮や高波に注意):  
<https://www.nhk.or.jp/sonae/douga/suigai0005.html>



⑬

※福岡県防災ホームページ:避難所を探す  
<https://www.bousai.pref.fukuoka.jp/shelter/>



⑦

※NHKそなえる防災(津波のメカニズム):  
<https://www.nhk.or.jp/sonae/douga/tsunami0001.html>



## 指導に役立つウェブサイト

### 一般社団法人防災教育普及協会

学校での防災教育に活用されている防災教育教材・防災ゲーム等が紹介されています。

<https://www.bousai-edu.jp/info/kyouzai-list/>



### 国土交通省防災教育ポータルサイト

防災教育に役立つホームページを収録し、防災教育に取り組む先生方が教育素材を簡単に入手できるポータルサイトです。

<http://www.mlit.go.jp/river/bousai/education/index.html>



編集／発行

**福岡県** (総務部 防災危機管理局 防災企画課)

〒812-8577 福岡市博多区東公園7-7 TEL(092)643-3112  
FAX(092)643-3117